

Otaru Business School (OBS)

小樽商科大学専門職大学院

アントレプレナーシップ専攻

2022年度

学生募集要項

MBA

Graduate School of Commerce

Otaru University of Commerce

小樽商科大学大学院商学研究科

〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5番21号

教務課入試室 TEL : 0134-27-5253

URL : <https://www.otaru-uc.ac.jp>

目次

1. アントレプレナーシップ専攻について	1
(1) ディプロマ・ポリシー	
(2) アドミッション・ポリシー	
(3) 授与学位	
(4) 開講の方法	
2. 募集内容	2
3. 選抜方法	3
(1) 一般入試	
(2) 社会人入試	
(3) 組織推薦	
4. 出願資格	5
(1) 一般入試	
(2) 社会人入試	
(3) 組織推薦	
5. 出願手続	6
(1) 出願書類等	
(2) 出願期間	
(3) 提出方法	
(4) 提出先	
6. 入学試験日等	7
(1) 試験実施日時	
(2) 試験場	
7. 合格発表	8
(1) 発表日時	
(2) 発表方法	
(3) 追加合格	
8. 入学手続	8
(1) 入学手続期間	
(2) 入学料及び授業料	
9. その他	9
(1) 障がい等を有する入学志願者との事前相談	
(2) 入試情報開示	
(3) 個人情報取り扱いについて	
(4) 留学生学外相談員制度について	

出願書類様式

- (様式1) 入学願書
- (様式2) 履歴書
- (様式3) 検定料領収書及び(控)・照合票
- (様式4) 志望理由書
- (様式5) 推薦書

新型コロナウイルスの国内感染状況次第では、選抜方法等が変更となる場合がありますが、その場合は小樽商科大学受験生サイト(<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/graduate/>)でお知らせします。
受験者の皆様の健康・安全面を考慮して、入学試験を実施いたします。

1. アントレプレナーシップ専攻について

(1) ディプロマ・ポリシー

1911（明治44）年に官立「小樽高等商業学校」として創立された小樽商科大学は、開学以来「実学・語学・品格」の理念の下、多様かつ調和のとれた教育体系により、高度な専門知識を有し、指導的な役割を担う、社会の諸分野において貢献しうる職業人を育成してきました。

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻は、2004（平成16）年、その伝統を受け継ぎ設置されました。経済活性化を最優先課題とする北海道において、ビジネス・リーダー及びビジネス・イノベーターの育成を目的としています。本専攻名に冠する「アントレプレナーシップ」とは起業はもとより、既存組織における新規事業開発や企業・非営利組織の改革など、広く「革新」を実行しうる意識と能力ととらえています。

本専攻では、経営管理に関する最新の知識に基づき、ビジネス・リーダー及びビジネス・イノベーターの果たすべき役割を理解し、企業・非営利組織の問題を発見し解決策を立案する能力を身につけた者に対して、MBA（Master of Business Administration）「経営管理修士（専門職）」の学位を授与します。

(2) アドミッション・ポリシー

小樽商科大学大学院商学研究科は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を極め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する人材の育成を目的としています（小樽商科大学大学院学則第1条より）。

アントレプレナーシップ専攻では、地域の産業と経済の活性化に資するビジネス・リーダー及びビジネス・イノベーターを育成することを目的として、以下のような方を受け入れます。

求める学生像

- 1) 社会人で、新規事業開発や事業革新、あるいは既存組織の改革を目指している人
- 2) 医歯薬理工系大学出身者や研究者で、技術シーズで新規事業を開発したいと思っている人
- 3) 社会人、学生、留学生で、起業家への夢を抱いている人

入学者選抜方法

本専攻では、医歯薬理工系大学の出身者を含む多様な分野・経歴の人が受験できるよう、受験者の経歴に応じて、「一般入試」、「社会人入試」、「組織推薦入試」の3種類の入学試験を実施しています。また、入学試験は、以下の4点を重視し、それぞれの入学試験に応じて、筆記試験、小論文、口述試験、面接試験、志望理由書により総合的に判断します。

- 1) 地域の現状に対する問題意識を持ち、地域活性化に対する熱意・意欲があること
- 2) 組織経営に関わる知識・スキルを習得する努力を惜しまないこと
- 3) 質の高いディスカッションを行うための広範な社会常識及び地域・経済動向に対する洞察力を備えていること
- 4) 事業構想や問題解決に不可欠な、多面的な観点からの発想を向上させる努力を惜しまないこと

(3) 授与学位

本専攻に2年以上在学し、所定の単位を修得した方には、次の学位を授与します。

学位（和文）： 経営管理修士（専門職）

（英文）： MBA（Master of Business Administration）

(4) 開講の方法

- ① 授業は日本語で行います。
- ② 授業は以下の場所で行います。

平日（月～金）夜間（18:30～21:40）	土曜日終日（10:30～17:40）
小樽商科大学札幌サテライト	小樽本校
札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55ビル3階	小樽市緑3丁目5番21号

2. 募集内容

下記入試区分により募集します。選抜方法詳細については、3 頁の「3. 選抜方法」を参照してください。同一年度内に複数の入試区分で受験することが可能です。

なお、各入試区分とも国籍、学士号の種類を問わず応募可能です。出願資格詳細については、5 頁の「4. 出願資格」を参照してください。

各入試区分とも入学時期は 2022 年 4 月です。

入試区分	出願資格	試験区分	出願期間	学力検査等実施日		合格発表日	入学定員 (募集人員) ※1
				筆記試験又は小論文	面接試験又は口述試験		
一般入試	大学を卒業した者、又はそれに準ずる者	前期	2021 年 8 月 17 日(火)～ 8 月 26 日(木)	2021 年 9 月 26 日(日) 10 : 00～	2021 年 9 月 26 日(日) 13 : 00～	2021 年 10 月 7 日(木) 10 : 00	計35名 うち、組織 推薦の募集 人員は最大 10名程度と する
		後期	2021 年 12 月 20 日(月)～ 2022 年 1 月 6 日(木)	2022 年 1 月 30 日(日) 10 : 00～	2022 年 1 月 30 日(日) 13 : 00～	2022 年 2 月 7 日(月) 10 : 00	
社会人入試	大学を卒業した者、又はそれに準ずる者で 2 年以上の実務経験者	前期	2021 年 8 月 17 日(火)～ 8 月 26 日(木)	2021 年 9 月 26 日(日) 10 : 00～	2021 年 9 月 26 日(日) 13 : 00～	2021 年 10 月 7 日(木) 10 : 00	
		後期	2021 年 12 月 20 日(月)～ 2022 年 1 月 6 日(木)	2022 年 1 月 30 日(日) 10 : 00～	2022 年 1 月 30 日(日) 13 : 00～	2022 年 2 月 7 日(月) 10 : 00	
組織推薦 ※2	随時入試 ※3	随時	2021 年 6 月 7 日(月)～ 11 月 26 日(金)	—	随時	随時	
	指定日入試	指定日	2021 年 12 月 20 日(月)～ 2022 年 1 月 6 日(木)	—	2022 年 1 月 30 日(日) 13 : 00～	2022 年 2 月 7 日(月) 10 : 00	

※1 本学の「5 年一貫教育プログラム」及び「大学院連携による MBA 特別コース」による入学者がいる場合は、これを募集人員の 35 名に含めるものとします。

※2 入試区分「組織推薦」で出願可能なのは、一組織から 2 名までです。一組織 2 名の推薦枠にも関わらず、同一組織から 2 名を超える出願があった場合には、同一組織の志願者を入学試験の得点により 2 名に絞り込んだ後に、合否判定します。なお、**経営者自身の出願は認められない**のでご注意ください。

※3 組織推薦「随時入試」を希望する場合は、出願の 2 週間前までに必ず教務課入試室へご連絡ください。
教務課入試室 TEL : 0134-27-5253 e-mail : nyushi@office.otaru-uc.ac.jp

*** 入試区分「組織推薦」で推薦できる人数について**

基本的に法人格を有する組織を「一つの組織」とします。よって、支店や営業所部局など組織内部の一階層は「一つの組織」とは見なしません。つまり 2 名を組織推薦できる「一つの組織」とは、株式会社や市役所などの全体を指します。

3. 選抜方法

すべての入試区分で、個別の試験において本学が定めた基準に満たないものがある場合は、総合点が高得点であっても、原則として不合格とします。

なお、志望理由書の記載内容については「出願書類様式（様式4）」を、推薦書の記載内容については「出願書類様式（様式5）」を参照してください。

(1) 一般入試

学力試験、面接試験及び志望理由書を総合判定し、選抜します。

1) 学力検査等実施内容及び配点

学力試験	筆記試験 なお、TOEFL又はTOEICのスコアを任意提出することも可能	100点
面接試験（20分程度）		100点
志望理由書		100点
計		300点

2) 筆記試験

「本専攻に相応しい時事問題をテーマにした筆記試験」とし、テーマは学力検査当日提示します。

3) TOEFL 又は TOEIC のスコア

TOEFL 又は TOEIC のスコア提出は任意としますが、出願時にスコアを提出した場合は、換算後の点数を予め学力試験の点数として与え、学力試験配点から換算点を引いた点数で筆記試験を評価します。

例：a) 出願時に TOEIC の公式認定証を提出し、そのスコアが 730 であった場合
 学力試験配点 100 点－換算点 50 点＝50 点（筆記試験は 50 点満点で評価）
 学力試験得点＝換算点 50 点＋筆記試験得点

b) 出願時に TOEFL 又は TOEIC のスコアを提出しなかった場合
 学力試験配点 100 点－換算点 0 点＝100 点（筆記試験は 100 点満点で評価）
 学力試験得点＝筆記試験得点

TOEFL, TOEIC は次の基準で換算します。

TOEFL (IBT) スコア	TOEIC スコア	換算点
80 以上	730 以上	50 点
76 以上 79 以下	700 以上 729 以下	45 点
71 以上 75 以下	670 以上 699 以下	40 点
68 以上 70 以下	640 以上 669 以下	35 点
64 以上 67 以下	610 以上 639 以下	30 点
61 以上 63 以下	580 以上 609 以下	25 点
57 以上 60 以下	550 以上 579 以下	20 点
55 以上 56 以下	520 以上 549 以下	15 点
52 以上 54 以下	490 以上 519 以下	10 点
48 以上 51 以下	460 以上 489 以下	5 点
47 以下	459 以下	0 点

- 注) 1. TOEFL, TOEIC とも出願締切日の 2 年前以降に受験したスコアに限ります。
 2. TOEIC のスコアは国内で受験したものに限ります。
 3. TOEFL ITP スコア, TOEIC IP スコアは認められません。

(2) 社会人入試

小論文、口述試験及び志望理由書を総合判定し、選抜します。

1) 学力検査等実施内容及び配点

小論文	100点
口述試験	100点
志望理由書	100点
計	300点

2) 小論文

「本専攻に相応しい時事問題をテーマにした小論文」とし、テーマは学力検査当日提示します。

3) 口述試験実施要領

1. 所要時間

プレゼンテーション (10 分程度), 質疑応答 (15 分程度)

2. プレゼンテーションの内容

- ① 最終学校卒業以降, 今日までの職務内容
- ② アントレプレナーシップ専攻への志望理由
- ③ MBA 取得後の具体的な行動計画
- ④ 進学に向けての準備状況及び就学環境の整備状況

3. プレゼンテーションの方法

A 4 版 2 頁以内の配付資料(口述試験担当者用)を口述試験当日必ず 2 部持参してください。持参しない場合は、マイナス評価となります。

プロジェクター等の使用を希望する場合は、出願時に申し出てください。

なお、口述試験は受験者ごとに個別に行います。

(3) 組織推薦

A) 「随時入試」

面接試験、推薦書及び志望理由書を総合判定し、選抜します。(学力検査は免除)

1) 検査実施内容及び配点

面接試験	100 点
推薦書	100 点
志望理由書	100 点
計	300 点

2) 面接試験実施要領

1. 面接の内容

- ① 組織から与えられた課題と本人の役割
- ② アントレプレナーシップ専攻で修得しようとする事
- ③ MBA 取得後の職務

2. 面接の方法

出願の前に、組織(当該組織の長又はそれに準ずる者)、候補者等に対して事前ヒアリングを行います。

出願の 2 週間前までに必ず教務課入試室へご連絡ください。

(教務課入試室 TEL:0134-27-5253 e-mail:nyushi@office.otaru-uc.ac.jp)

出願の後に、40 分程度の面接を 2 回行います。

- ・ 1 回目の面接は、志願者を含め、組織(当該組織の長又はそれに準ずる者)に対する面接を行います。
- ・ 2 回目の面接は、志願者に対してのみ行います。

B) 「指定日入試」

口述試験、推薦書及び志望理由書を総合判定し、選抜します。(学力検査は免除)

1) 検査実施内容及び配点

口述試験	100 点
推薦書	100 点
志望理由書	100 点
計	300 点

2) 口述試験実施要領

1. 所要時間

プレゼンテーション (15 分程度), 質疑応答 (15 分程度)

2. プレゼンテーションの内容

- ① 組織から与えられた課題と本人の役割
- ② アントレプレナーシップ専攻で修得しようとする事
- ③ MBA 取得後の職務

3. プレゼンテーションの方法

A 4 版 2 頁以内の配付資料(口述試験担当者用)を口述試験当日必ず 2 部持参してください。持参しない場合は、マイナス評価となります。

プロジェクター等の使用を希望する場合は、出願時に申し出てください。

なお、口述試験は受験者ごとに個別に行います。

4. 出願資格

(1) 一般入試

次のいずれかに該当する者

- ① 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び 2022 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び 2022 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2022 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑨ 2022 年 3 月までに大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学大学院が認めた者【注 1】
- ⑩ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学大学院が認めた者【注 1】
- ⑪ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学大学院が認めた者【注 1】
- ⑫ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者【注 1】
- ⑬ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者及び 2022 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者【注 2】

(2) 社会人入試

次のいずれかに該当する者

- ① 「(1) 一般入試」の出願資格①から⑧のいずれかの資格を満たした後（見込みは除く）、2022 年 3 月 31 日までに、企業・官庁等における 2 年以上の実務経験を有する者
- ② 「(1) 一般入試」の出願資格①から⑧のいずれかの資格を満たし、高等学校卒業後又は高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）合格後、2022 年 3 月 31 日までに、企業・官庁等における 9 年以上の実務経験を有する者
- ③ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022 年 3 月 31 日において 24 歳以上であり、かつ、企業・官庁等における 2 年以上の実務経験を有する者【注 2】

(3) 組織推薦

次のいずれかに該当する者

- ① 「(1) 一般入試」の出願資格①から⑧のいずれかの資格を満たした後（見込みは除く）、2022 年 3 月 31 日において現所属組織（企業・官庁等）に継続して 3 年以上勤務しており、かつ、当該組織の長（又はそれに準ずる者）からの推薦が得られる者
- ② 「(1) 一般入試」の出願資格①から⑧のいずれかの資格を満たし、高等学校卒業後又は高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）合格後、2022 年 3 月 31 日において企業・官庁等で 9 年以上の実務経験を有する者であり、かつ、現所属組織（企業・官庁等）に継続して 3 年以上勤務しており、さらに、当該組織の長（又はそれに準ずる者）からの推薦が得られる者
- ③ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022 年 3 月 31 日において 25 歳以上であり、かつ、現所属組織（企業・官庁等）に継続して 3 年以上勤務しており、さらに、当該組織の長（又はそれに準ずる者）からの推薦が得られる者【注 2】

【注 1】 この出願資格により出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、「出願資格事前審査申請書」等を下記期限内に教務課入試室へ提出すること。

【注 2】 この出願資格において、個別の入学資格審査の対象となる者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、外国大学日本分校、外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者」である。この出願資格により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行うので、「入学資格事前審査申請書」等を下記期限内に教務課入試室へ提出すること。

前期：2021 年 7 月 29 日（木） 後期：2021 年 12 月 2 日（木）

組織推薦（随時入試）：2021 年 10 月 28 日（木） 組織推薦（指定日入試）：2021 年 12 月 2 日（木）

各種「事前審査申請書」については、<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/graduate/gguide/> から印刷し、使用してください。

出願資格で不明な点は、教務課入試室へお問合せください。TEL:0134-27-5253 e-mail:nyushi@office.otaru-uc.ac.jp

5. 出願手続

(1) 出願書類等

各様式については小樽商科大学受験生サイトからPDF形式（Word形式）のファイルをダウンロードすることが可能です。白の上質紙に印刷して使用してください。（URLについては、5頁の下から3行目を参照願います。）サイズはA4サイズに統一し、拡大・縮小はしないでください。

書類等		提出者	摘要
入学願書	様式1	全員	
履歴書	様式2	全員	
検定料領収書及び（控）・ 照合票	様式3	全員	照合票には、出願前3か月以内に撮影した写真を1枚貼ること。（正面，上半身，脱帽の写真。縦4cm×横3cm）
志望理由書	様式4	全員	作成要領は様式4を参照のこと。
推薦書	様式5	該当者	「組織推薦」で受験する者は必ず提出すること。 所属組織によって作成され、 厳封されたもの 。（1通）
成績証明書		全員	大学長又は学部長が作成し、 厳封されたもの 。 （本学在学学生、卒業生、修了生は、提出不要）
卒業（見込）証明書		全員	大学長又は学部長が作成したもの。 （本学在学学生、卒業生は、提出不要）
修了（見込）証明書		該当者	大学院研究科長又は学部長が作成したもの。（大学院を修了した者又は修了見込みの者。本学修了生は、提出不要）
学位授与証明書		該当者	大学評価・学位授与機構が作成したもの。 （大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者）
受験許可書		該当者	大学院研究科長が作成したもの。 （他の大学院に在学中の者）
検定料		全員	30,000円 郵送の場合は普通為替証書（郵便局の貯金窓口又はゆうちょ銀行で購入）とし、指定受取人欄、受領印欄、委任欄には一切記入しないこと。 既納の検定料は、いかなる事情があっても還付しない。 国費外国人留学生（日本政府奨学金留学生）は不要。
在留カードの写し		該当者	外国人留学生は必ず提出すること。 転入届を済ませていない者は、パスポートの写し。
TOEFL又はTOEICの 公式認定証		該当者	出願締切日の2年前以降に受験したもの。（1通） TOEFL ITPスコア，TOEIC IPスコアは認めない。 TOEICのスコアは国内で受験したものに限り。 ・試験結果が直接、本学へ送付（スコア直送制度）されるよう手続きを取ること。（※） ・公式認定証の本学到着は出願期間中を原則とする。発行に時間を要する場合があるので、早めに手続きを取ること。
公的資格取得に関する 証明書		該当者	ビジネス関連の公的資格を取得した場合は、それを証明する書類の写し。
表彰・受賞に関する証明書		該当者	ビジネスに関連し表彰・受賞を受けた場合は、それを証明する書類の写し。

(※) TOEFL, TOEICのスコア直送制度について

[TOEFLスコア]

- ・小樽商科大学のETS登録コード番号：9699
- ・受験時にコード番号を所定欄に記入するか、すでに受験が終わっている場合はTOEFL実施機関であるETSに送付手続きをしてください。

[TOEICスコア]

- ・公式認定証直送制度の詳細および直送依頼書はTOEIC実施機関のWebサイトを参照してください。
<http://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html>
- ・直送先は以下のように記入してください。
送付先学校機関名：小樽商科大学
送付先住所：〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
送付先部署・係・担当者氏名：教務課入試室
- ・直送についての問合せ先：
一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 IIBC試験運営センター公式認定証直送係
TEL：03-5521-6033（土曜、日曜及び祝日を除く 10:00～17:00）

- ※ 推薦書及び成績証明書は、必ず発行元で厳封されたものを提出してください。厳封印またはサイン等のない証明書は受理できません。
- ※ 大学院を終了している場合は、大学院の修了証明書と学部の卒業証明書の両方を提出してください。成績証明書についても大学院と学部の両方を提出してください。

(2) 出願期間

- 1) 入試区分「一般入試」「社会人入試」
 前期：2021年8月17日(火)から2021年8月26日(木)まで
 後期：2021年12月20日(月)から2022年1月6日(木)まで
- 2) 入試区分「組織推薦」
 随時入試(※)：2021年6月7日(月)から2021年11月26日(金)まで
 指定日入試：2021年12月20日(月)から2022年1月6日(木)まで
 (※)随時入試については、出願前に組織、候補者等に対して事前ヒアリングを行います。
 出願の2週間前までに必ず教務課入試室へご連絡ください。

(3) 提出方法

志願者は、出願書類等を取りそろえ、下記により提出してください。なお、受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しませんのでご注意ください。

- ・窓口での出願 窓口での出願は、土曜、日曜及び祝日を除く8:30～12:00、13:00～17:15とする。ただし、平日であっても12月29日(水)から1月3日(月)までを除く。
- ・郵送による出願 封筒の表に「2022年度大学院アントレプレナーシップ専攻出願書類在中」と朱書きし、書留で郵送してください。(最終日必着)

(4) 提出先

〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5番21号 小樽商科大学教務課入試室
 TEL：0134-27-5253 e-mail：nyushi@office.otaru-uc.ac.jp

6. 入学試験日等

(1) 試験実施日時

1) 入試区分「一般入試」「社会人入試」

前期

入試区分	試験実施日時		
一般入試	筆記試験	2021年9月26日(日)	10:00～12:00
	面接試験		13:00～
社会人入試	小論文	2021年9月26日(日)	10:00～12:00
	口述試験		13:00～

後期

入試区分	試験実施日時		
一般入試	筆記試験	2022年1月30日(日)	10:00～12:00
	面接試験		13:00～
社会人入試	小論文	2022年1月30日(日)	10:00～12:00
	口述試験		13:00～

2) 入試区分「組織推薦」

入試区分	試験実施日時		
随時入試(※)	面接試験	随時	
指定日入試	口述試験	2022年1月30日(日)	13:00～

(※)随時入試の場合、面接場所、面接時間については個別に定めます。

(2) 試験場

小樽商科大学(小樽市緑3丁目5番21号)で実施します。試験室及び面接室等の案内図は、試験当日通知します。ただし、「組織推薦」随時入試の場合は、個別に通知します。

7. 合格発表

(1) 発表日時

- 1) 入試区分「一般入試」「社会人入試」
前期：2021年10月7日(木) 10:00
後期：2022年2月7日(月) 10:00
- 2) 入試区分「組織推薦」
随時入試：随時
指定日入試：2022年2月7日(月) 10:00

(2) 発表方法

合格者の受験番号を、本学学生センター前及び小樽商科大学受験生サイト上(<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/graduate/>)に掲示し、さらに、全員に判定結果の通知書を送付します。電話等による合否についての照会には、一切応じませんのでご了承ください。

(3) 追加合格

入学定員に欠員が生じた場合は、追加合格を行うことがあります。

- 1) 追加合格の有無の確定日時
2022年2月22日(火) 13:00(予定)
- 2) 追加合格対象者
後期試験受験者のうち、本学の定めた基準を満たすものを対象者とします。
- 3) 追加合格の通知及び入学意志の照会
追加合格を実施する場合は、2022年2月22日(火) 13:00(予定)以降、2月24日(木)までの間に、追加合格順位上位の者から順に、本人あてに直接電話で入学意志の照会を行います。(入学願書には、確実に連絡が取れる連絡先を記載してください。)

8. 入学手続

(1) 入学手続期間

2022年2月8日(火)から2月21日(月)まで(土曜及び日曜は除く)
なお、2月21日(月)までに入学手続を行わないときには、入学辞退者として取り扱います。
郵送の場合は2月21日(月) **必着**とします。

(2) 入学料及び授業料

	納付額	納付時期
入学料	282,000円	入学手続期間内に納付
授業料	前期分 267,900円〔年額 535,800円〕	入学後(2022年4月中)に納付

(注) 上記の納付額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

- 1) 入学料、授業料の納付方法、免除、徴収猶予の申請等詳細については、入学手続案内で知らせます。
- 2) 既納の入学料は、いかなる事情があっても返還しませんので注意願います。

9. その他

(1) 障がい等を有する入学志願者との事前相談

大学は、障がい等のある志願者について、受験及び就学上の特別な配慮を必要とすることがあります。したがって、障がい等のある志願者は、出願前に教務課入試室までご相談ください。(教務課入試室 TEL:0134-27-5253 e-mail:nyushi@office.otaru-uc.ac.jp) なお、必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る方との面談等を行います。

(2) 入試情報開示

2022年度入学者選抜にかかる受験者の入学試験情報について、次のとおり開示します。

- ア 申請者：受験者本人に限ります。
- イ 申請及び開示期間：合格発表の翌日から次回試験日の前日まで
(土曜、日曜及び祝日を除く 8:30～12:00, 13:00～17:15 とする。)
- ウ 申請方法：本学所定の用紙によりお申し込みください。
郵送により申し込む場合は、あらかじめ電話又は文書により教務課入試室まで申し出てください。
なお、本人確認のため本学受験票が必要となります。
- エ 開示方法：窓口での交付又は郵送。ただし、郵送により申請した方には、受験者本人あて簡易書留により郵送します。
- オ 開示内容：

入試区分	開示内容
一般入試	筆記試験, TOEFL 又は TOEIC (本学が定める基準で換算した後の得点) 面接試験及び志望理由書の得点及び合計点
社会人入試	小論文, 口述試験及び志望理由書の得点及び合計点
組織推薦	面接試験又は口述試験, 推薦書及び志望理由書の合計点

(3) 個人情報の取り扱いについて

- 1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人小樽商科大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- 2) 志願者の氏名、住所その他出願書類により取得した個人情報及び入学試験成績については、入学者選抜(出願処理、選抜実施)、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等の調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- 3) 合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前教育、入学後の学籍管理、成績管理、授業料管理、図書館利用管理の他、教育活動、学生生活支援及び就職支援活動に必要な組織内の業務遂行のためにのみ利用します。

(4) 留学生学外相談員制度について

本専攻では、「留学生学外相談員制度」を設けています。

この制度は、外国人留学生が本専攻に入学後、その学生をよく知る学外の方に相談員になっていただき、大学及び学生本人との相談に応じていただくものです。したがって、学生の修学に伴う様々な問題・不安を軽減し、学生生活が円滑なものとなることを目的としており、いわゆる「保証人」とは性質を異にします。外国人留学生が本専攻の入学試験に合格した場合、この学外相談員となる方が必要です。

については、合格者は、入学手続時に別紙1「『留学生学外相談員』をお引き受けくださる方へ」に付している「承諾書」を相談員となっていたただけの方から得て、本学に提出してください。

外国人留学生は、あらかじめ相談員として相応しいと思われる知人等(相互によく知っており、2022年4月から少なくとも2年間日本国内に居住予定の方)に本制度の趣旨を説明して、承諾を得られるよう準備をしてください。

- 関連資料： 別紙1 「留学生学外相談員」をお引き受けくださる方へ
別紙2 「留学生学外相談員」の手引き

「留学生学外相談員」をお引き受けくださる方へ

本大学院は、留学生の皆様が、MBA を取得するという主要な目的を達成できるよう、きめ細かな指導を行うよう努め、日常的に相互に連絡を取り合うことができる「留学生学外相談員」制度を設け、留学生に自分の学外相談員を確保することを義務づけています。

留学生学外相談員をお引き受けくださる方には、その学生が入学を許された時から、修了までの2年間（もしくは退学によって、本学の学籍がなくなるまでの期間）、日本国内に居住され、大学及びその学生と常に連絡が可能であり、ご協力いただけることが条件となります。詳しくは、別紙2（「留学生学外相談員」の手引き）をご参照ください。

大変ご面倒とは存じますが、相談員になってくださる方についていくつかお尋ねいたしますので、ご回答をお願いいたします。

1. 下記の留学生を、いつ頃から（あるいは何年くらい）ご存知でしょうか。
年 月から（ 年間）

2. 相談員は下記の留学生をどのような機会にお知りになりましたか。

.....

3. 日本国籍以外の方に伺います。あなたは日本に何年くらいご滞在ですか。また、少なくとも今後何年くらい引き続き日本に在住されるご予定ですか。

- ・現在までの在住期間； 年間
- ・今後の在住期間； 年間（予定）

後日、学生支援課国際交流室から確認のご連絡をいたします。

(TEL : 0134-27-5262 e-mail : inljimu@office.otaru-uc.jp)

承 諾 書

小樽商科大学大学院商学研究科長 殿

氏 が小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻（専門職大学院 ビジネススクール）に入学を許可された後、2年間以上日本国内に居住し、同氏が修了もしくは退学するまでの期間、同氏の留学生学外相談員を引き受けることを承諾いたします。事情により相談員を続けることが困難になった場合には、速やかに大学に連絡いたします。

年 月 日 署名
(氏 名)

国 籍

住 所

連絡先電話番号※ ご自宅（ ） — 職場（ ） —

※なお、午前9時から午後5時までの間に連絡できる方に○を付けてください。

「留学生学外相談員」の手引き

この手引きは留学生学外相談員の皆様に実行して頂きたいこと、その方法などをお示ししたものです。これらはすべて、留学生が目的どおり学位を取得できるよう、皆様に大学と一体となってサポートして頂くために必要なことですので、よろしくご協力をお願い致します。

1. 留学生とは、最低月2回程度は連絡を取ってください。

- ・ 修学上の悩みや生活面・経済面等の悩みを幅広く聞いてください。
- ・ 身元保証人ではないので、相談員の方が解決して下さる必要はありません。留学生が困っていることについては、大学にご連絡ください。

2. 留学生とは、最低月1回程度は面接してください。

- ・ 外見からの健康状態（顔色が冴えない・急激に痩せた）など健康を損なっていないかを確認してください。
- ・ 服装、髪型等が急激に派手になったり、極端にお金に困るなど、留学生の生活に大きな変化が見られないかにも注意を払ってください。
- ・ 実際に会って感じたとおりのことをご連絡頂ければ結構です。

3. 大学への連絡は、緊急時はいつでも、通常は月1回程度お願い致します。

4. その他

- ・ 連絡方法は電話、e-mail, FAX, どの方法でも結構です。
- ・ 相談員は保証人ではありません。生活面・経済面の支援（授業料・家賃の立替等、金品等の譲与）や、債務保証などは、大学は相談員にお願いしておりません。留学生から相談されたり依頼されたことで、お困りになるようなことがありましたら、直ちに下記連絡先までご連絡ください。

「連絡先」

小樽商科大学学生支援課国際交流室

TEL : 0134-27-5262

FAX : 0134-27-5264

e-mail : inljimu@office.otaru-uc.ac.jp

受験番号	※ 前・後・推(随時・指定日)
------	-----------------

2022年度 小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻 (専門職大学院) 入学願書

入試区分 (いずれかに○印を付すこと)

一般入試	社会人入試	組織推薦 (随時入試)	組織推薦 (指定日入試)
------	-------	----------------	-----------------

(ふりがな) 氏名	男 女	国籍 (外国人のみ)	
生年月日 年齢	西暦 年 月 日生 歳 (2022年4月1日現在)	在留資格 (外国人のみ)	
現住所	〒 — 電話 () — 携帯電話 () —		
勤務先 (有職者のみ)	勤務先名 所在地 〒 — 電話 () —		
出願資格	大学 学部 学科 西暦 年 月 日 卒業・卒業見込み 年次在学		

■ 一般入試のみ

TOEFL 及び TOEIC のスコア利用について必要事項を記入すること。

TOEFL 又は TOEIC のスコア提出について (○で囲む)	提出する	提出しない
提出するスコア (試験) の種類 (○で囲む)	受験時期	スコア
TOEFL (IBT) ・ TOEIC	西暦 年 月	

■ 社会人入試, 組織推薦 (指定日入試) のみ

口述試験時の機材使用希望について, いずれかに○を付し, 持参希望の場合は機材名を記入すること。

1. 大学の機材を使用する (Windows パソコン, PowerPoint2013, プロジェクタが使用可能です。)
2. 持参する (持参機材名: _____)
3. 機材を使用しない

注 1) 1. を選んだ場合は, 試験当日に USB メモリでデータを持参すること。
2) 機材の接続にかかる時間は, 試験時間に含まれるので注意すること。

受験番号	※
------	---

履 歴 書

1. 学 歴 (*は外国人留学生のみ記入すること)

	学 校 名	所 在 地 (国名・県名等)	正 規 の 修 業 年 限	修 学 年 数	在 学 期 間 (西 暦)
小学校 *			年	年	～ 年 月 年 月
中学校 *			年	年	～ 年 月 年 月
高等学校			年	年	～ 年 月 年 月
大 学			年	年	～ 年 月 年 月
大 学 院			年	年	～ 年 月 年 月
通算全教育修業年数 (小学校からの通算年数)			年		

2. 研 究 歴 (大学院在学期間は除く)

研 究 機 関 名	在 籍 期 間 (西 暦)	在 籍 年 数	研 究 内 容
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	
	年 月～ 年 月	年 月	

3. 公 的 資 格 取 得 ・ 表 彰 ・ 受 賞 歴

資 格 ・ 表 彰 ・ 賞 の 名 称 等	資 格 取 得 ・ 授 賞 年 月 (西 暦)	授 与 団 体 等 名
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

※資格取得・表彰等を証明する書類の写しを提出すること。

4. 職 歴

勤 務 先 名	在職期間（西暦）	雇用形態・職種・所属部署・職務内容
例 株式会社〇〇商事	2007年4月1日 ～ 2020年5月31日 ----- 13年2か月	雇用形態：正社員 職種：営業 所属部署：〇〇部〇〇課 職務内容：〇〇年〇〇月〇〇部〇〇課長（部下〇名）として～を担当。
	年 月 日 ～ 年 月 日 ----- 年 か月	
	年 月 日 ～ 年 月 日 ----- 年 か月	
	年 月 日 ～ 年 月 日 ----- 年 か月	
	年 月 日 ～ 年 月 日 ----- 年 か月	
	年 月 日 ～ 年 月 日 ----- 年 か月	

※在職期間（西暦）について、不明の場合は、年月までの記入として差し支えない。

注意事項

- 1) 名称は全て正式名称とし、省略しないこと。
- 2) 記入欄が不足する場合は、各記入欄の下に記入するか、別紙を添付すること。
- 3) 「4. 職歴」については、可能な限り詳細に記入すること。

2022年度小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻入学試験
検定料領収書(控)

2022年度小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻入学試験
検定料領収書

受験番号	※
住所	
氏名	
納付番号	2021-
金 30,000円	
上記のとおり納付します。 出納役 国立大学法人小樽商科大学 会計課経理係長 殿	

受験番号	※
住所	
氏名	
納付番号	2021-
金 30,000円	
上記の金額領収しました。 出納役 国立大学法人小樽商科大学 会計課経理係長	

切り離さないこと

(注) 住所・氏名のみ記入すること。

(注) 住所・氏名のみ記入すること。

2022年度 小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻入学試験
照 合 票

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 写真貼付 (縦4cm×横3cm) 出願前3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身、脱帽のもの。 </div>	受験番号	※
	入試区分	<ul style="list-style-type: none"> ・一般入試 ・社会人入試 ・組織推薦(随時入試) ・組織推薦(指定日入試)
	(ふりがな) 氏名	男 ・ 女
	生年月日	西暦 年 月 日生

- 注 1) 入試区分は該当するものに○印を付すこと。
2) 写真裏面には氏名を記入し、剥がれないように糊付けすること。

切り取り線

受験番号

※

2022年度 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻
志望理由書

入試区分 (いずれかに○印を付すこと)

一般入試	社会人入試	組織推薦 (随時入試)	組織推薦 (指定日入試)
------	-------	----------------	-----------------

氏名

【作成要領】

入試区分に応じて、①～④又は⑤の各項目について、それぞれ1,200字程度（従って4項目であれば4,800字、5項目であれば6,000字を超えないこととする）の文字数でA4サイズ用紙に記載し、添付すること。（下部に総ページ数が分かるように、ページ番号「例 1/8…8/8」を記入すること。なお、各ページには氏名を記入しないこと。）

（一般入試）

- ① ビジネス志向等に関する資料（注）
- ② アントレプレナーシップ専攻への志望理由
- ③ MBA取得後の具体的な行動計画
- ④ 進学に向けての準備状況

（注）以下の事例を参考として、ビジネス志向や体験に関する資料を作成すること。

事例) ビジネスやNPOなどでの社会活動経験、集団や組織の指導経験、インターンシップ等の経験、産業やビジネスの調査研究、技術分野の研究や開発、自己のビジネス志向を決定づけた出来事等

（社会人入試）

- ① 最終学校卒業以降、今日までの職務内容
- ② アントレプレナーシップ専攻への志望理由
- ③ MBA取得後の具体的な行動計画
- ④ 進学に向けての準備状況及び就学環境の整備状況
（所属組織から修業上の支援を受けられる場合等、安定した就学を確保する方策について具体的にその内容を記載すること。）

（組織推薦）

- ① 現在の職務内容
- ② 組織から与えられた課題と本人の役割
- ③ アントレプレナーシップ専攻で修得しようとする事
- ④ 進学に向けての準備状況
- ⑤ MBA取得後の職務
（具体的な職務について、あるいは組織に対してどのような貢献をするかについて記述すること。）

受験番号	※
------	---

2022年度 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻

推 薦 書
(組 織 推 薦 用)

志願者氏名： _____

1. 志願者の職務内容

切
り
取
り
線

2. 組織が抱える問題を解決するために志願者に与えた課題（使命）

3. 推薦理由（具体的に、志願者が推薦に価すると考えた実務上の能力とその評価、志願者に本専攻において修得させようとする事、本専攻を選んだ理由、本専攻修了後に職場で期待すること、修学に対する組織の支援方法等を明確に記入すること。）

切
り
取
り
線

- ・本件は極秘情報として扱います。
- ・欄が不足の場合には、別紙を添付してください。
- ・厳封の上、志願者にお渡しください。

作 成 年 月 日

所 在 地

組 織 名

職 名

推薦者氏名（署名）

職印

電 話 番 号

新型コロナウイルスの国内感染状況次第では、選抜方法等が変更となる場合がありますが、その場合は小樽商科大学受験生サイト(<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/graduate/>)でお知らせします。

受験者の皆様の健康・安全面を考慮して、入学試験を実施いたします。

なお、新型コロナウイルスへの対応のため、一部遠隔で授業を行っていますが、授業体制は、状況に応じて変更しますので、受験の際は、“通学すること”を念頭においてください。